

7月から**赤旗電子版**が始まりました！(月額3497円)しんぶん**赤旗**  
**電子版**

Akahata digital edition

PC

タブレット

スマホ



毎朝6時にその日の紙面が読めます。形式は紙面の画面とテキストの画面です。テキスト形式の場合は全て読めませんが紙面形式であれば全ての記事が読めます。その上全国各地の地方版も読むことができます。電子版ならではの使い方としては、過去一年間の記事を閲覧・検索することができ、調べたいことがある時にすぐに探し出す事ができとても便利です。でかけ先でもどこでもインターネット環境があれば見る事が可能です。是非この機会に電子版をご利用ください。

我がまち紹介③  
久喜市栗橋

①栗橋関所(房川渡中田関所)  
天保18年(1590)に関東に入国した徳川家康は江戸を防御するため、日光道中最大の難所となる、利根川の川岸に寛永元年(1624)頃に関所を設置。開設と同時に関所番士(武士)を配置し「入鉄砲」と出女に厳しい監視「入鉄砲」とは、鉄砲などの武器を江戸に持込禁止で「出女」とは、江戸に留め置いた大名の妻子が無断で江戸を去ることを禁じたものであった。

②栗橋宿  
栗橋宿の開発は慶長年間(1596年)1615年に現在の茨城県五霞町の、池田鴨之助と並木五郎兵衛が一族郎党をともなって開墾したもので、現在国道4号線の



栗橋関所跡 栗橋北2-7

今回久喜市の中でも一番歴史の宝庫と言われる栗橋地域を紹介します。  
江戸時代栗橋は、日光道中七番目の宿場町として栄え、日光道中唯一の関所があり、東海道の箱根関所、中山道の碓氷関所と並ぶ3大関所として栗橋関所は位置づけられています。

## ③静御前の墓

静御前の墳  
JR栗橋駅から1分 栗橋中央1-2

喜市伊坂(旧静村)の地で亡くなったという伝説がある。  
享和3年(1803)、関東軍代、勘定奉行の中川忠英が栗橋関所付近を視察のさい、栗橋の静御前伝承を発見「静女の墳」の石碑を建立したもの。命日として伝わる9月15日には、毎年墓前祭が営まれている。(久喜市栗橋M・A)

日光御社参栗橋渡船橋の図  
千葉県立関宿城博物館蔵  
下、南北約1キロに宿場町が形成された。  
天保14年(1843)の記録によると、家屋数404軒、人口1741人で、本陣(池田家)1軒、脇本陣(並木家)1軒、旅人が泊まる旅籠屋25軒と記されている。幕末の栗橋宿絵図によると、荒物屋、煮売茶屋、うどん屋、餅菓子屋等、色々の店156軒が軒を連ねており、大変にぎわっていました。

2018年10月/部内資料

あなたと日本共産党をつなぐ かけはし



ワイ・ムード(青年の気持ち)



特集

原水爆禁止  
2018年世界大会レポート日本共産党東部北地区委員会 青年後援会  
〒346-0012 久喜市栗原 333-1 ☎0480-22-9296共産党 東部北 検索  
<http://icotsubukita.blog.shinobi.jp/>

No.13

# 原水爆禁止2018年世界大会レポート



原水爆禁止2018年世界大会は、海外22カ国91人はじめ、広島大会に6000人、長崎大会に1500人の参加者でした。  
今大会の8月5日～8月6日の広島大会に参加してきました。

東部北地区委員会  
初雁 顕世

## 世界の捉え方～核兵器禁止条約～

### アイルランド駐日大使（開会総会）

「兵器を使う主体や背景よりも兵器そのもののそれがもたらす影響について深い注意を向けてきました。前国連事務総長の『悪い兵器を扱う正しい手立てはない。』という言葉をサポートします。」

### フランス平和運動代表団（Ring!Link!Zero!）

「フランスの特に若い人々は核兵器、原爆の影響について知っている人は非常に少ないと思います。私達は様々な機会を捉えて核兵器について話すべきだと思う。」

核兵器禁止条約は核兵器被害の悲惨さを広く知ってもらう事で採択できたのだと感じました。もっと多くの若い世代や世界の人々に伝えて行く事で条約の発効も実現できるのではないかと思います。

## 原爆の被害



### 平和記念館

ガスタンクに残ったハンドルの影。ガスタンクの表面は、熱線を受けて塗料のコーラールが焼けましたが、ハンドルで熱線が遮られた部分は、コーラールが焼けなかったため、元のまま黒く残りました。（展示写真）



## 平和を願って

### 広島平和都市記念碑

「安らかに眠ってください。過ちは繰り返させぬから」と刻まれた石。通称原爆死没者慰霊碑。過ちは誰が犯したものかという問いかけにそれぞれが考えを巡らせた後、解釈は様々あるが人類の過ちという説が有力だと説明されながらそれぞれに思いを馳せました。

### 被爆者の話伝えたい（大学生 K・Aさん）

学校での授業や教科書とは違い、森本さん達被爆者の話を目の前で聞くと、表情や話し方からもその深刻さを感じ取る事ができます。被爆者のかたがいなくなれば、自分達が伝えていかなくてはなりません。今回のことを忘れず、これからも大会に参加したいです。少しずついろいろな人に伝えていきたいと思います。

# 憲法講演会『日本国憲法は希望です』

弁護士・白神優理子さんが語る！



戦争体験者の生き様を知り「命のバトンを受け継いだ」と現在の活動をされています。「医療、教育の格差社会は徴兵制に向かう」と憲法9条、13条、25条の関係性と補足となる24条の重要性について分かり易く説明されました。様々な国から絶賛されている日本国憲法に改憲の余地がない事、トークコーナーでは「いざ改憲発議がされれば改憲派は膨大な資本力でマスコミなどを使いさらに勢いを増す。そうなるからでは遅い」と改憲発議がいかに危険かを改めて訴えられました。またアメリカで始まっている経済的徴兵制度ではPTSDなどに

苦しむ若者が増えており現在自衛隊が行っている「日本版経済的徴兵制を疑う描写の募集冊子」などの自衛隊員募集に警鐘を鳴らしました。更に加速する安倍政権に対し私たちは「希望」を諦めてはいけません。若い世代が改めて「希望」を持てた講演会でした。（H・W）

## ドキュメンタリー映画「コスタリカの奇跡」

1948年コスタリカの大統領ホセ・フィゲレス・フェレールは「兵士よりも多くの教師を！」のスローガンのもと、軍隊を廃止しました。軍隊の無い国でどのように時代を潜り抜けてきたのかを映します。

また、イラク侵攻の有志軍参加を政府が決定した時学生が政府を違憲だと訴える国とはどのような国なのか。単純に日本と比べることなどできませんが、日本の自衛隊の現状を容認する声に対して訴えてくるものがある映画です。

今のコスタリカにグローバル化の波が押し寄せ貧富の格差から社会民主主義が揺らいでいる現状があるそうです。それでも映画を観た後、この国には凛とした姿勢を貫き続けて欲しいと思いました。（A・H）



10.21(火)  
10:00～  
12:30

## 綱領と未来を語るつどい

お話：市田 忠義（日本共産党副委員長・参議院議員）

（若い世代の皆さんへ）

未来を語るつどいに  
参加してください！

仕事や学業など多忙な毎日に、私たちひとりひとりの生き方、自分に何ができるのか一緒に学び合いましょう。

場 所：さいたま市産業文化センター 301&302号室（さいたま市中央区下落合5-4-3）

主 催：民青同盟埼玉県委員会、日本共産党青年学生部

連絡先：佐藤 090-6048-0203 安部 090-8497-9504